



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 明治機械株式会社

上場取引所 東

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,329	△20.6	△176	—	△195	—	△226	—
25年3月期第3四半期	4,195	△37.9	36	△74.8	19	△90.4	7	△97.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △192百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△23.92	—
25年3月期第3四半期	0.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,797	1,293	27.0
25年3月期	5,234	1,394	26.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,293百万円 25年3月期 1,394百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,601	△15.9	△159	—	△186	—	△234	—	△24.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,502,636 株	25年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	14,200 株	25年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,488,436 株	25年3月期3Q	9,488,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融証券取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績の予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、(添付資料3ページ)「連結業績予想に関する定性的情報」をご確認下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）の国内情勢は、金融・経済政策により、円安・株高による個人消費の持ち直し、また、東京が五輪の開催地決定となるなど、景気回復の兆しが見受けられました。一方、海外情勢は新興国の成長率の鈍化が見られ、不透明な状況が続いております。

このような中で、当社及び当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS（顧客満足）を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

また、当期は、当社が新たに策定した「第3次中期経営計画」の初年度に当たり、この計画に基づく経営改善諸施策であります「アクションプラン」を迅速かつ着実に推進していくことにより、確実に利益創出をして黒字基調を堅持する企業体質、ならびに今般の企業不祥事に対応したコンプライアンス体制・コーポレート・ガバナンス体制の充実強化を含めた強固な経営基盤を構築していく所存であります。

このような状況下、当社グループの連結売上高は、受注価格競争激化による受注の伸び悩みや逸注、顧客の設備投資の先送りなどがあり、当社の小中規模のプラントの工事進行基準による売上などがありましたが、3,329百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

また、損益面に関しましては、当社及び一部の連結子会社の業績低下があり、営業損失176百万円（前年同四半期は営業利益36百万円）、経常損失195百万円（前年同四半期は経常利益19百万円）、特別損益の投資有価証券売却益、子会社清算益や課徴金を加減して、四半期純損失226百万円（前年同四半期は四半期純利益7百万円）となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### [産業機械関連事業]

製粉業界は、平成25年10月には輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で4.1%引上げがあったことから、各製粉会社は業務用小麦粉の価格改定を行っております。また、副製品のふすまの価格は堅調に推移いたしました。

このような中、大手製粉会社では、将来に向けたコスト競争力強化のため、大型工場への生産集中を進めている模様であります。

一方、飼料業界では、主原料のトウモロコシの国際価格が米国の豊作により下落傾向にありますが、為替も円安に推移していることから配合飼料価格は依然として高値圏で推移しております。

このような状況のもと、売上高につきましては、牛用有葉飼料製造設備増設工事、ミル・シフター設備設置工事、馬用飼料製造設備増設工事などの各種飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、ピューリファイヤー、シフター、精選諸機械などに、連結子会社である株式会社東京製粉機製作所の売上が加わり、売上高は3,296百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。損益面に関しましては、プラント工事をはじめとする予算管理の徹底や経費削減に努めましたが、営業損失は204百万円（前年同四半期は営業利益8百万円）となりました。

#### [不動産関連事業]

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高33百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益27百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### i 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は4,797百万円となり、前連結会計年度末に比較して436百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が290百万円、仕掛品が149百万円、土地が25百万円、投資有価証券が40百万円減少したことなどによるものであります。

#### ii 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は3,503百万円となり、前連結会計年度末に比較して335百万円減少いたしました。これは、主に前受金が293百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金95百万円、短期借入金が334百万円、長期借入金が62百万円減少したことなどによるものであります。

#### iii 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は1,293百万円となり、前連結会計年度末に比較して100百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が48百万円増加したのに対し、利益剰余金が134百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月14日に公表いたしました業績予想値を、本日開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行いました。詳細につきましては、当該開示資料をご参照下さい。

<参考>

通期業績予想数値（平成26年2月12日公表）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	4,601	△159	△186	△234
個別	3,408	△112	△111	△147

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,244,904	1,314,301
受取手形及び売掛金	1,058,958	768,559
商品及び製品	93,900	115,360
仕掛品	497,410	347,638
原材料及び貯蔵品	80,366	70,752
その他	83,960	73,945
貸倒引当金	△896	△429
流動資産合計	3,058,604	2,690,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	166,904	168,777
機械装置及び運搬具（純額）	58,363	49,394
土地	952,218	927,218
その他（純額）	42,991	50,593
有形固定資産合計	1,220,477	1,195,984
無形固定資産		
その他	46,576	46,175
無形固定資産合計	46,576	46,175
投資その他の資産		
投資有価証券	822,526	782,406
その他	148,159	144,751
貸倒引当金	△62,178	△61,978
投資その他の資産合計	908,507	865,179
固定資産合計	2,175,561	2,107,339
資産合計	5,234,165	4,797,469
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,404,194	1,308,237
短期借入金	781,333	446,868
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	23,887	6,613
前受金	7,915	301,075
賞与引当金	19,871	9,683
工事損失引当金	10,519	15,497
その他	179,093	81,754
流動負債合計	2,446,814	2,189,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
社債	70,000	60,000
長期借入金	868,875	805,896
退職給付引当金	175,929	187,020
資産除去債務	19,698	19,698
その他	258,220	241,325
固定負債合計	1,392,724	1,313,940
負債合計	3,839,539	3,503,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651,112	4,651,112
利益剰余金	△3,212,084	△3,347,023
自己株式	△8,941	△8,941
株主資本合計	1,430,086	1,295,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,044	△49,505
為替換算調整勘定	△415	48,157
その他の包括利益累計額合計	△35,460	△1,347
純資産合計	1,394,626	1,293,799
負債純資産合計	5,234,165	4,797,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,195,194	3,329,523
売上原価	3,430,607	2,855,809
売上総利益	764,586	473,714
販売費及び一般管理費	728,529	650,365
営業利益又は営業損失(△)	36,057	△176,651
営業外収益		
受取利息	131	1,450
受取配当金	10,799	6,208
負ののれん償却額	—	3,562
その他	13,848	18,790
営業外収益合計	24,779	30,012
営業外費用		
支払利息	29,187	22,245
持分法による投資損失	8,561	9,189
為替差損	—	1
その他	3,981	17,493
営業外費用合計	41,730	48,929
経常利益又は経常損失(△)	19,106	△195,568
特別利益		
固定資産売却益	3,400	—
投資有価証券売却益	—	52,348
子会社清算益	—	4,650
特別利益合計	3,400	56,998
特別損失		
固定資産売却損	900	—
課徴金	—	82,710
特別損失合計	900	82,710
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,606	△221,279
法人税、住民税及び事業税	16,352	16,725
法人税等調整額	△1,890	△11,020
法人税等合計	14,462	5,705
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	7,144	△226,984
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,144	△226,984

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	7,144	△226,984
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△36,322	△14,461
為替換算調整勘定	△735	48,573
その他の包括利益合計	△37,058	34,112
四半期包括利益	△29,914	△192,872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,914	△192,872
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	4,160,172	35,021	4,195,194	—	4,195,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	857	857	△857	—
計	4,160,172	35,878	4,196,051	△857	4,195,194
セグメント利益	8,582	27,475	36,057	—	36,057

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)
	産業機械 関連事業 (千円)	不動産 関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,296,343	33,180	3,329,523	—	3,329,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	571	571	△571	—
計	3,296,343	33,752	3,330,095	△571	3,329,523
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△204,277	27,626	△176,651	—	△176,651

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成25年11月29日開催の臨時株主総会において、下記のとおり資本金の額の減少ならびに剰余金の処分について承認可決され、平成26年1月31日に効力が発生しております。

なお、当社は平成25年6月27日開催の第138回定時株主総会におきまして、「資本金の額の減少の件」及び「剰余金の処分の件」を付議し、当該議案は承認可決されました。しかし手続の瑕疵により資本金の額の減少の効力が発

生せず、またこれに伴い剰余金の処分における欠損補填も行えないこととなり、これに対応すべく再度当該議案を付議したものであります。

その内容は以下のとおりであります。

(1) 資本金の額の減少及び剰余金の処分の目的

欠損金を補填して、財務体質の健全化を図るとともに、自己株式の取得や株主還元の実現を含む機動的かつ柔軟な資本政策を可能とするため、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を行い、同額をその他資本剰余金に振り替え、増加後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替え、会社法452条の規定に基づき繰越利益剰余金に振り替えたものであります。

(2) 資本金の額の減少の要領

資本金の額4,651,112,731円のうち3,045,379,723円を減少し、減少後の資本金の額を1,605,733,008円といたしました。減少する資本金の額全額を、その他資本剰余金に振り替えいたしました。

資本金の額のみが減少するため、これに伴って貸借対照表上の「純資産の部」における勘定の振り替えに関する処理を行ったものであります。従って、当社の純資産額に変更が生じるものではありません。

また、払い戻しを行わない無償減資とするため発行済株式総数の変更は行っておりません。

(3) 剰余金の処分の内容

資本金の額の減少の効力が生じた後のその他資本剰余金3,045,379,723円的全額を減少し、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填に充当いたしました。